

刑事政策公開講演会

日時：平成29年1月27日（金）15:00～18:00
場所：法務省 大会議室（中央合同庁舎6号館地下1階）

第1部 15:00～16:20

○主催者挨拶

○講演 「米国少年司法におけるダイバージョン」（仮題）

○講演者 リチャード・デンプ教授（Professor Richard Dembo）

米国南フロリダ大学（University of South Florida, U.S.A.）

研究分野 犯罪学（特に少年非行、薬物乱用対策など）

著書 『家族のエンパワーメントのための介入—高リスク少年とその家族に対する新たなサービス』
（Family Empowerment Intervention: An Innovative Service for High-Risk Youths and Their Families）2002, 共著

『非行少年の抑うつに関する多面的研究』（Multigroup Study of Depression among Youth Entering the Juvenile Justice System）2016年出版予定, 共著

このほかに、少年非行や薬物乱用対策等に関する多くの執筆がある。

第2部 16:40～18:00

○講演 「リヤドガイドライン及びハバナルール*の成立経緯及び現代的意義」（仮題）

○講演者 マッティ・ヨッツェン博士（Dr. Matti Joutsen）

国連欧州犯罪防止研究所長（HEUNI, Director）

専門分野等 刑事政策

リヤドガイドライン等の制定に関与し、フィンランド法務省国際局長（Ministry of Justice, International Affairs, Director）等を務めたほか、ヘルシンキ大学等で刑事政策に関する講義を持つなど、刑事政策に関する豊富な経験がある。

*リヤドガイドライン及びハバナルールは、いずれも1990年の国連総会で採択された少年司法に関する国連準則である。リヤドガイドラインは、非行に至る前段階における少年非行防止に関するガイドラインであり、ハバナルールは、拘禁された少年の保護に関するルールである。

*****日・英の同時通訳が利用できます。*****

主催及び連絡先

| | |
|-----------------|----------------------------|
| 国連アジア極東犯罪防止研修所 | TEL 042-333-7021（担当：渡部，半藤） |
| 一般財団法人日本刑事政策研究会 | TEL 047-304-5571 |
| 公益財団法人アジア刑政財団 | TEL 042-334-6639 |



■講師紹介

リチャード・デンボ教授（米国南フロリダ大学）

博士（社会学）。少年非行、薬物乱用対策等の犯罪学について広範な研究をしており、220本を超える執筆がある。

米国社会学連合のアルコール・薬物部会の議長を務めた経験があるほか、少年非行、薬物乱用対策等に関する多くの学術雑誌の編集委員でもあり、豊富な研究実績がある。

また、ニューヨーク州における保護観察官など実務家としての経験も有する。

非行少年の更生に対する関心が高く、1993年には、米国で最初の非行少年アセスメント設立チームの一員となったほか、米国において、「家族のエンパワーメント」など少年の立ち直りを図るための多くのプロジェクトに取り組んでいる。



マッティ・ヨッツエン博士（国連欧州犯罪防止研究所長*）

法学博士。刑事政策に関する豊富な国際経験を有し、フィンランド法務省国際局長、同省EUコーディネーター、国連欧州犯罪防止研究所長などを歴任している。国連の犯罪予防及び刑事司法プログラムにおいて重要な役割を担い、長年にわたって kongress, コミッション等に参加し、近年の kongress では副議長を務めている。

ヘルシンキ大学で刑事政策に関する講義を持つほか、ニューヨーク市立大学ジョン・ジェイ・カレッジで比較国際刑事司法を教えるなど、学術面においても豊富な経験を有する。

*国連欧州犯罪防止研究所（European Institute for Crime Prevention and Control, affiliated with the United Nations (HEUNI)）

フィンランドのヘルシンキにある国連プログラムネットワークであり、欧州地域を始めとする刑事司法等の分析・発展に努めており、国連と欧州各国をつなぐ機関でもある。



刑事政策公開講演会 参加申込書

- 1 リチャード・デンボ教授 (Professor Richard Dembo)
米国南フロリダ大学 (University of South Florida, U.S.A.)
「米国少年司法におけるダイバージョン（仮題）」
- 2 マッティ・ヨッツエン博士 (Dr. Matti Joutsen)
国連欧州犯罪防止研究所長 (HEUNI, Director)
「リヤドガイドライン及びハバナルールの成立経緯及び現代的意義（仮題）」

| | |
|--------------|--|
| (ふりがな) | |
| 参加希望者 御芳名 | |
| 御連絡先 | <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 御住所：〒 電話番号： 電子メール： |
| 御勤務先 役職 | |
| 備考 | |

※上記に必要事項を記載の上、平成29年1月13日(金)までに、FAX又は電子メールにてお申し込みください。

お問い合わせ先 国連アジア極東犯罪防止研修所（担当：半藤）

〒183-0057 東京都府中市晴見町1-26

TEL:042-333-7021(代表) FAX:042-333-7024 E-mail: unafei@moj.go.jp